

部活と私  
部活と私  
—友達と私の考え—

B-2 7512512 岩渕 琢磨(いわぶち たくま)

### 1. 部活の紹介

私の所属している部活は少林寺拳法部です。この部活は約 20~30 人で基本的に週 2 回、木曜日は剣道場で金曜日は大体育館の二階で 6 時から 9 時の間、活動しています。そのほかの活動として火曜日と土曜日、日曜日があります。火曜日は県立武道館でスポ少の人たちと練習するので、やる気のある人がこの練習は出ます。土曜、日曜日は剣道場で自主練習ができます。この部活の活動内容は基本的に型の練習をし、ときどき空乱という実戦に近い練習もしたりします。みんな楽しく練習したり、大会などが近くなると気合を入れて一生懸命練習したりと練習に対するメリハリがあり、充実した練習をしています。また大会のほかに昇級、昇段試験というのが 3 か月から 4 か月に一回くらいのペースであります。練習している友達や先輩たちと一緒にいるととても楽しいです。また、この部活に入ってから生活が充実し、楽しい毎日を送れています。

これらの一例として、先輩が技を丁寧に教えてくれることや、私たちのことを考え合宿や飲み会、練習メニューを部長中心に幹部たちで考えてくれたり、部活後や週末に友達と食事に行ったり、先輩の家に呼んでもらいみんなで集まって楽しく食事しながら談笑したりする、ということがあります。そしてそのあと、夜遅くなると家の近くまで先輩が必ず送ってくれます。その少林寺拳法部が私の大切なコミュニティーです。そして今ある時間を大切にそのコミュニティーをずっと大切にしていきたいです。

### 2. インタビュー相手

私が今いる大切なコミュニティーの中でインタビュー相手として選ぶ人は、中学から一緒にいる友人です。選んだ理由として、先ほどにも述べたとおりその友人は中学からの付き合いで、高校も同じであり、そして今現在も大学で同じ部活に所属しているため大学内でも部活内でも付き合いが 1 番長いからです。また、友達とは今までは違う部活に入っていたので一緒に同じ部活に入って活動することがとても新鮮です。そして私の最も大切な友人の一人であり、今でも仲良くしています。その友人とは一緒に部活動で活動し、また、部活以外での一緒に活動する時間や、一緒に食事をする回数も多いです。特に部活の時間には、お互いの技や型などの欠点や良かった点などいろいろ意見を言いあったりして、互いに切磋琢磨しています。

そんな友人と気兼ねすることなく意見を交換できると思ったので、インタビューしたいと思いました。

### 3. インタビュー結果

今回こういう機会に友達に、部活というコミュニティーについて話し合えてよかったと思います。インタビューでは約 40 分話し合いました。

最初に、私とそのインタビュー相手である友達に「部活の雰囲気は楽しいですか？」という質問に「楽しいよ」と即答で答えました。この時、自分と同じ考えでよかったと思いました。しかし、最近それぞれの理由で部活に来られない人がいるので全員がそろろうということがほとんどありません。私が、インタビューした相手も、このことがあてはまります。その理由として、バイトのシフトがうまくいかないということでした。だから、「しょうがない、勘弁してほしい」ということを言っていました。それに対しての私の考えは、バイトの事情は分かるけど、でも何とかして部活に出てほしいという気持ちです。その気持ちを相手に伝えると「わかってくれよ」と答えていました。でもやはり部活に出てほしいです。そして、「それが続いてしまうと休むことが癖になりほんとに来なくなってしまう」と伝えたら、「自分は部活が好きだから多分その確率は低いと思う」と友達は言いました。一応、彼なりに部活のことについて考えているんだなと思いました。また、インタビューをして彼は改めて、部活とバイトのことについて悩んでいるんだなと思いました。そのことが分かる発言として、「本当に部活出たいんだけどさ、バイトのシフトがうまく調節できなくて困ってるんだよ」と言っていました。部活の雰囲気は入部当初とどう変わったかを話し合いました。友達が「雰囲気はそんなに変わってないけど、練習に関して厳しくなったよね」とちょっと苦笑い気味に言いました。「確かに厳しくはなったけど、傾向としてはそんなに悪くないと思う」私が返したら、「部活に入ったときは出欠に関してそんなに厳しくなかったから、そこが変わると少し戸惑うし、正直な話厳しくないから部活に入部した部分もある」と言ったので、そこは自分の意見と食い違ったので少し残念な気持ちになりましたが、同時にわかる部分もありました。このように部活の出席に関しては、話し合いの中での大部分を占めてました。最後の質問として、「今後もこの部活にいたいですか？」と聞いたら「もちろん」と答えたが返ってきたのでこの考えも同じ考えなんだと思いました。今回のインタビューで自分と部活に対する考えが大体一致していたと思いましたが、出席に関してだけは意見が合わなかったのでそこをもう少し話し合わなければいけないのかなと思いました。部活の出欠問題についてはいい解決策がないか、みんなと考えていきたいです。

#### 4. 部活と私

私が、この少林寺拳法部というコミュニティを大事にしている理由は、大学で入っている部活がこの部活だけだということと、この部活に入って先輩方や友達など多くの人間関係ができたからです。またそのコミュニティにいととても楽しく、居心地が良く自分にとって最高の空間だからです。運動部ということなので、みんなで大会などに向けて一生懸命練習したり、大会の場で喜びややすさを分かち合ったりできます。今回インタビュー相手として同じ少林寺拳法部に入ってる中学からの友人を選びました。上の“3. インタビューの結果”でも書きましたが部活についてどう思っているのかを2人で話し合えたのは良かったです。意見が同じところは部活の雰囲気が好きということと先輩や友人との関係がいいということ、意見が合わなかった点は部活動内でも問題になっている、部活の出席についてということがわかりました。

私は今いるコミュニティをこれからも大事にしていきたいし、部活動内の雰囲気は、

俺も友達も好きという同じ意見が出たので、今のままで維持していけばいいと思います。しかし、部活動の出席に関しての問題は友達とインタビューした結果、自分的には部活の勧誘の時にちょっと問題があると感じました。ですがこの問題は、自分で勝手に悩み、解決するのではなく今後の課題として部活内のみんなで話し合っただけでいい解決策を見つけていきたいと思います。そうすれば今より、いっそう一体感が出てくると思います。また、部員の人数が増えてもっと楽しくなると思います。これからも、この部活を通して後輩や少林寺拳法部に入っているほかの大学の人たちなど新しい人間関係が増えていきます。そのことも大事にしていきたいですし、大学を卒業してもこのコミュニティで培ったものは大事にしたいと思います。

#### 5. クラスについての感想（改善するを希望する点）

私はこのクラスを受講して改善を希望する点は、お昼を食べる時間をもうちょっと増やしてほしいという点です。それ以外は私は、全体的にいい授業だと感じました。またこの授業は、ほかの授業とは雰囲気の違い、独特の授業だなと思いました。この授業は、とても楽しかったし留学生たちと交流することができて、自分にとってとても有意義な時間だったと思いました。この授業のテーマである、自分のコミュニティについて一度、こうして友達と語り合う機会ができたり、ほかの人はそれぞれのコミュニティについてどんな考えを持っているのかが分かったのもその点がさらによかったと思います。これからは、留学生と交流した経験と、自分のコミュニティについて同じコミュニティ内の仲間と考えるこの大事さを生かしていきたいと思います。